

刈谷市歴史博物館 KARIYA city Museum of History



刈谷の歴史に親しみ、見て、触れて、体験して学ぶことのできる施設として平成31年3月24日に開館しました。館内にはお祭りひろば、歴史ひろば、企画展示室の3つの展示室のほか、体験学習室や資料閲覧室などを備えています。



住所 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1
開館時間 9:00 ~ 17:00
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始など
電話 0566-63-6100
入場料 【常設展】無料 【企画展】展覧会によって異なります

刈谷市歴史博物館 <https://www.kariya-infobox.jp/>

ー アクセスー

- JR東海道本線逢妻駅・名鉄三河線刈谷市駅から徒歩約15分
- 刈谷市公共連絡バス「かりまる」で刈谷市駅から約10分 東刈谷・逢妻線「刈谷市体育館」下車
- 上記バスで逢妻駅南口から約5分「刈谷市体育館」下車

刈谷北部エリアの 魅力を発見!

(A) トヨタ車体 刈谷ふれ愛パーク

●コンセプトは「人と自然の調和」



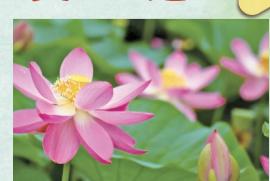
自然とふれあい、環境学習やスポーツなど多目的に楽しめる場です。里山の風景をイメージしたピオトープがあり、四季を通じて自然とふれあえます。雑木林から流れる小川のせせらぎに耳を傾けながら、水辺や水田などで多くのいきものを観察できます。

また、ふれあい広場で思いっきり体を動かしたり、憩いの場としてもご利用いただけます。

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」東境線「一里山砂山」下車徒歩5分
名鉄バス 愛知教育大前行「逢見山」下車徒歩10分(知立駅より乗車)
休 毎週月曜日、年末年始 開 0566-36-2110 場 刈谷市東境町山畠31-3
駐車場あり

(B) 花池の蓮

●花池一面に広がる美しい蓮



毎年7月に池は美しいピンクの蓮の花で覆われ、花池蓮愛好会の皆さんのが尽力により「はすまつり」が開催されます。

午後には花が閉じてしましますので午前中の来訪がおすすめです。

名鉄富士松駅下車徒歩10分または、
刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」西境線「今岡市民館」下車徒歩5分
場 刈谷市今川町花池38-12

刈谷駅前観光案内所



観光案内、イベント情報など刈谷のことなら何でも分かる便利スポットです!観光パンフレットも盛りだくさん。休憩スペースや携帯充電、KARIYA FREE Wi-Fiなどの無料サービスも充実しています。

お土産販売

お菓子などの刈谷土産や、かつなりくんグッズを多数販売!帰省、出張のお土産に最適です。



無料レンタサイクル



少し離れた取引先への移動や、ゆったり観光に便利な電動アシスト自転車。その軽快さを是非体感してみてください。

ノーパンクタイヤ仕様でパンクの心配もありません!

※フル充電でおよそ30km ~ 40km走行可能です。

※身分証明書の提示、1,000円の保証金をお預かりします。

問題がなければ、利用後に返却します。

新発売

I ❤️ KRY ボールペン

刈谷愛のつまつたボールペン。観光の思い出に、日常使いに、出張のお土産にいかがですか?

シンプルなデザインで使う人を選びません!



250円(税込)/本

住所 刈谷市相生町1丁目1番地6 刈谷市産業振興センター1F

開所時間 10:00 ~ 18:00 **休館日** 毎月第2水曜日・年末年始

電話 0566-45-5833

H P <https://www.kariya-infobox.jp/>



令和2年1月発行 発行元: 刈谷駅前観光案内所

刈谷駅前観光案内所季刊誌

刈谷 じゃん!

街のそばの
身近な自然に注目!

刈谷自然探訪

C 国指定天然記念物小堤西池の カキツバタ群落

●愛知の花、刈谷の花「カキツバタ」

市の最北部にある小堤西池は、京都・大田ノ沢、鳥取・岩美町の唐川と並ぶ日本三大カキツバタ自生地の一つで、昭和13年には「小堤西池のカキツバタ群落」として国の天然記念物に指定されました。

昭和51年に地元の有志によって結成された「小堤西池のカキツバタを守る会」によって、除草などの保護活動が行われています。花の見頃は5月中旬で、小堤西池のカキツバタは可能な限り、自然のままにしてありますので、栽培したカキツバタと比べて株ごとに、花の色や大きさ、咲く時期にはばつきが生じます。肥料を与えないでの、栽培したものに比べると背丈が低いものが多くなっています。また、カキツバタ以外にも多くの湿性植物や多様な自然環境を楽しむことができます。

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」東境線「洲原公園北口」下車徒歩15分

〒 刈谷市井ヶ谷町小堤西1

※専用駐車場はありませんので洲原公園駐車場をご利用ください。

D 洲原公園

●広大な自然を生かした総合公園

刈谷市北部の丘陵地に広がる洲原公園は、洲原池を中心とした広大な公園です。池の周囲の長さ2.2キロメートルの遊歩道は手ごろなウォーキングコースになっています。この公園の大部分を占める洲原池は、昔「新池」と呼ばれていましたが、明暦元年(1655)に五穀豊穣・雨乞いの神として名高い美濃國(岐阜県美濃市)の洲原神社の分社が建立されてから「洲原池」と呼ばれるようになりました。

桜の季節には絶好のお花見スポットとして多くの人に親しまれています。また公園内には北部生涯学習センターをはじめ、温水プール、テニスコート、ロッジ、ディキャンプ場などスポーツ・レジャー施設も備わっています。



刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」東境線「洲原公園北口」下車すぐ
〒 刈谷市井ヶ谷町洲原4-1



自然がいっぱいの7km さわたりがわ 猿渡川

さかいがわ 境川・逢妻川

リバーサイド ウォーク

刈谷市

このエリア

① ミササガパーク



刈谷市（市制50周年）とカナダのミササガ市（姉妹都市連携20周年）との友好を記念して整備された公園です。公園の中央部に草原の広場を配置し、周囲には針葉常緑樹・広葉常緑樹等を中心に植栽し、また休憩所・トイレなどの施設をログハウス調にして、ミササガ市をイメージできるような公園になっています。春秋は美しいバラを楽しむことができます。

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」小垣江・依佐美線「ミササガパーク」下車すぐ、JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅から徒歩15分
刈谷市半城土西町2-4 P 駐車場あり

④ 猿渡川堤防道路



川沿いに一直線に伸びる気持ちのいい道です。特に夕方にはときおり空中高く飛び跳ねる魚を観察することができます。またこの付近の田畠では春にキジが頻繁に目撃されます。

⑥ 中川町のコスモス畑



元刈谷地区の皆さんにより、休耕田を利用して秋にコスモスが植えられます。ピンクのコスモスと赤い名鉄電車の組み合わせはアマチュア写真家に人気の被写体です。（2年に一度）

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」小垣江・依佐美線「松坂町5丁目」下車すぐ
愛知県刈谷市中川町1

⑧ 境川浄化センター



愛知県が管理する下水処理場です。刈谷市、知立市、安城市の一部をはじめとした7市2町を処理区域として汚水処理を行っています。処理水の排水口付近は多くの魚が集まり、釣り人には人気のスポットです。

⑪ 境川橋・市原橋



刈谷市と東浦町の境に架かる橋です。このあたりで体長1m近いエイが観察されたこともあります。満潮時にはこのあたりまで海の魚が上ってくることがあります。

沿道で遭遇する可能性
がある生き物たち



タヌキ



キツネ



イタチ



キジ



カモ



ミサゴ



セイタカシギ



チドリ

② 刈谷豊田総合病院南側のコスモス畑



元刈谷地区の皆さんにより、休耕田を利用してコスモスの種がまかれ、10月には美しい花を咲かせます。（2年に一度）

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」全路線「刈谷豊田総合病院」下車徒歩3分



③ 地球橋

その名の通り橋の欄干が地球の形をしたユニークな橋で、正式名称は神明橋です。運が良ければ橋の上から見下ろす猿渡川には50cmクラスのコイの魚影を見ることができます。



⑦ 猿渡川河口付近



干潮時には干潟となり、冬にはカモなど多くの渡り鳥が餌をついぱむる愛らしい姿が観察できます。

⑨ 境川・逢妻川堤防道路



地元の人たちにジョギングや散歩で使用される気持ちのいい道です。海を感じることができます。セイタカシギやチドリ、時にミサゴの姿を見ることがあります。

⑩ 平成大橋



1996年（平成8年）に開通した刈谷市と東浦町を結ぶ橋です。この橋の開通により刈谷・東浦間の往来がスマーズになりました。尾張と三河を分ける境川水系3河川（境川、逢妻川、岡田川）を一気に越えます。

⑫ 市原稻荷神社



刈谷市の鎮守の宮として古くから地元の人たちの信仰を集める神社です。大化の改新直後の第36代孝徳天皇が白雉（はくち）4年（653）に、亀狭山（現在の亀城公園）に創立されたと言われています。水野忠政の刈谷城築城とともに市原の地に移りました。寛永9年（1632）松平忠房以来、兵器を整

えて渡御祭をすることに定め、大名行列として現在まで継承されています。（大名行列は不定期開催）深い緑に囲まれた境内では梅雨時に美しい花菖蒲を見ることがあります。

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」小垣江・依佐美線「司町4丁目」下車徒歩3分
名鉄三河線刈谷市駅より徒歩15分、またはJR東海道本線 逢妻駅より徒歩20分
刈谷市司町8-52

⑬ 亀城公園



水野忠政が天文2年（1533）に築城した刈谷城は亀城とも呼ばれ、その後、刈谷藩によって270年間維持されてきました。現在、刈谷城の姿はありませんが、お堀跡の城池、小亀池が城址の面影を残しています。その刈谷城の本丸と二の丸の一部を利用しているのが現在の亀城公園です。

戦後、植栽等が進められ、昭和44年に高台一帯を日本庭園に造成し、その後も度重なる整備により、今日の公園となりました。池には数多くの錦鯉が泳いでいます。刈谷随一の桜の名所で、春には毎年桜まつりが開催されます。

刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」東刈谷・逢妻線「刈谷市体育館」下車すぐ
刈谷市城町1-1-1

※生き物は必ず見ることができるわけではありません。